

科目名 (科目番号)	検査機器総論 (102351)	教員名 稲田 政則 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	この科目では、臨床検査で用いられる主な検査機器の種類、原理、特徴、構造、取り扱い方について習得する。1年次後期以降に開講される専門科目実習で使用する検査機器・器具について理解を深めておくことが目的となる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	化学容量器	到達目標:各種ガラス器具・マイクロピペットについて理解を深める。 学習内容:化学容量器の種類と特徴、その使い方を学ぶ。				
	2	天秤	到達目標:天秤について理解を深める。 学習内容:秤量装置の構造と原理、使い方を学ぶ。				
	3	純水装置/pHメーター	到達目標:pHメーターの構造を理解し、純水製造の原理から水の品質について理解する。 学習内容:pHメーターの構造と原理、純水製造装置の種類と構造を学ぶ。				
	4	遠心分離器/その他共通機器	到達目標:これらの共通機器について理解を深める。 学習内容:遠心分離装置、攪拌装置、恒温装置等について、その構造と原理、使い方を学ぶ。				
	5	緩衝液/試薬調製法	到達目標:試薬調製法および緩衝液作製法を習得する。 学習内容:濃度計算の基礎、緩衝液の性質について学ぶ。				
	6	分光光度計	到達目標:分光光度計の構成要素について理解する。 学習内容:分光光度計の原理と構造について学ぶ。				
	7	比色分析	到達目標:比色分析法の基礎的内容を理解する。 学習内容:吸光光度法による定量検査の原理を学ぶ。				
	8	顕微鏡	到達目標:生物顕微鏡の原理、各種観察方法を理解する。 学習内容:生物顕微鏡の構造と使い方を学ぶ。				
成績評価の方法・基準	定期試験(100%)						
教科書	検査機器総論	三村邦裕・山藤賢(編)			医歯薬出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	臨床検査技師にとって濃度計算は必須です。濃度計算ができない限り、この科目の単位取得は困難と考えてください。理解できるまで、自ら徹底的に学修してください。						